NEW
10月24日、アマゾンがついに「Kindle」を日本に投入し、日本版の「Kindle Store」をオープンさせると発表した。2012年6月末、アマゾンは「Kindle」を近日中に販売開始するとサイトで告知したものの、その後3カ月以上、一切なにも発表してこなかったので、今回の発表はメディアで大きく取り上げられている。

今回発売されるのは最新の電子書籍専用端末でWiFiモデルの「Kindle Paperwhite」（8480円）、NTTドコモ回線で3G接続できる「Kindle Paperwhite 3G」（1万2980円）、7インチタブレット端末「Kindle Fire」（1万2800円）、HDディスプレーを搭載した「Kindle Fire HD」（1万5800円～）の4種類。発売予定日はKindle Paperwhiteが12年11月19日で、Kindle Fireが12年12月19日となっている。

日本版のKindleストアには、角川グループパブリッシング、講談社、小学館、新潮社、文藝春秋など、有力出版社が多数参加し、日本語電子書籍のタイトル数は5万点を超えているとされる。このタイトルの中には、合計1万5000を超える漫画タイトルと、日本の名作などの無料の日本語書籍1万タイトル以上が含まれる。また、オリコン週間「本」ランキングのBOOK（総合）、文庫、コミック、各部門の上位の多くのタイトルをカバーしたという。